

指定校番号	28106	学級活動	○	児童会・生徒会活動	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	---	-----------	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	安芸高田市立吉田中学校	校長	友繁 孝実	生徒指導主事	三宅 伸之
-----	-------------	----	-------	--------	-------

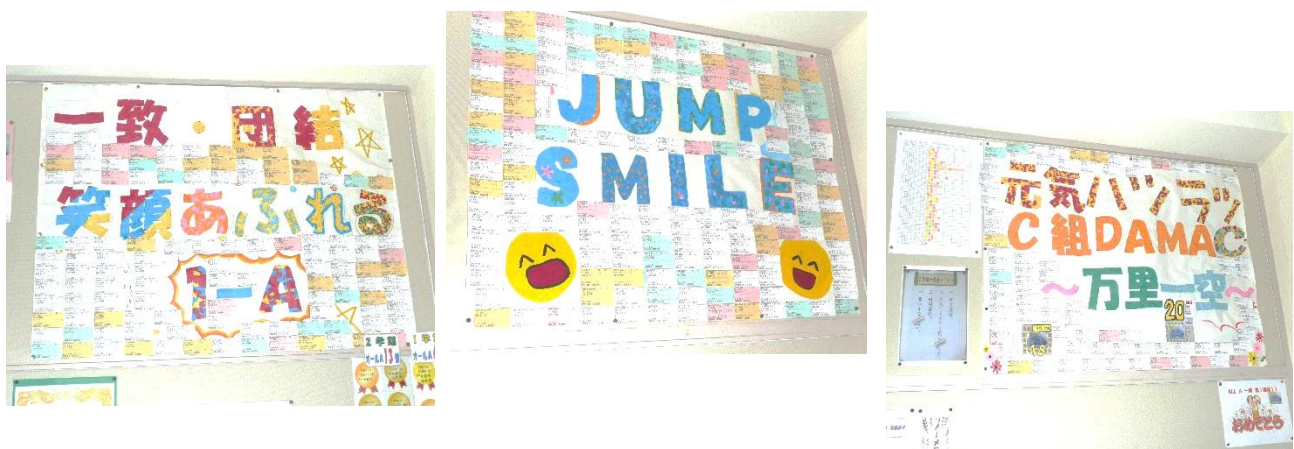
**取組事例名 『仲間のおいところをみつけてプラス(+)行動を増やす!』**

**取組のねらい『自己肯定感や自己存在感の向上』**

生徒が、仲間同士で互いのよいところを見つけ合い、学校生活のプラス行動を増やすことで、自己肯定感や自己存在感を高め合う。

**取組の具体的内容『ほめほめカードで仲間のよさを視覚化』**

- ① 教室に4種類のカード（ほめほめカード）を置く。
- ② 生徒は仲間のおいところやほめたいところを見つけたら、カードに書いて担任に提出する。
- ③ 担任はカードを見て、教室内のほめほめ達成シートにカード一枚につき一枚のシールを貼る。



**取組の課題・創意工夫『すべての生徒が評価される取組』『吉中三訓とのリンク』**

**取組の課題**

担任は、意図的にペアをつくり、1週間でパートナーについて最低1枚はカードが書けるように指導する。ほめほめカードが貼れない生徒をつくらないことを基本とする。または、状況によっては担任や教科担任がほめほめカードを書いていく。



**創意工夫** 教室内に4色のほめほめカード入れを設置する

ほめほめカード	月	日	① 記入日
To (		)	② ほめる仲間の名前
内容(		)	③ ほめる内容(簡潔に)
From(		)	④ カードの記入者
挨拶励行関係項目			

- 挨拶励行関係の内容 (黄色)
- 時間厳守関係の内容 (赤色)
- 傾聴姿勢関係の内容 (青色)
- 吉中三訓以外の内容 (白色)

吉中三訓

### 取組の成果（効果）『生徒と生徒の繋がりづくり』

ほめほめカードを増やす取組で生徒と生徒をつなぐことができた。また、仲間のために働くことができる生徒が多くカードをもらって評価され、その学級の支持を受けて生徒会役員選挙に立候補するまでになった。結果として、生徒が仲間同士でお互いのよいところを見つけ合い、学校生活のプラス行動を増やし、自己肯定感や自己存在感を確実に持つことができる生徒を増やすことができた。

### 今後の展開『「安心の雰囲気」をつくる活動（アクティビティ）』

今回の取組から生徒同士のつながりづくりのきっかけができたので、学級内の人間関係を今よりさらに良好な関係（＝信頼関係）にできるように、学級の雰囲気づくりに取り組んでいくことにした。

朝会、または暮会の時間の5分程度内を使い、エンカウンターを要素を取り入れた活動（アクティビティ）を1週間に2、3回程度行う。事後アンケートで目標とする望ましい雰囲気づくりができているとした生徒があらかじめ設定した数値目標を超えたら、次のSTEPの活動へステップ・アップしていく。

### 他校へのアドバイス『心の居場所づくり』

ほめほめカードのづくりや「安心の雰囲気」をつくる活動は、すべて人間関係づくりの取組である。この取組を指導する職員の姿勢によって、成果に大きく差が生じることを忘れてはならない。それゆえに、指導者は笑顔で生徒の前に立ち、生徒の心の居場所づくりを日々工夫していく必要がある。